



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月11日

上場会社名 セメダイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4999 URL <http://www.cemedine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天知 秀介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 飯田 秋彦 TEL 03-6421-7412
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	6,893	22.1	546	671.2	551	588.6	361	533.9
2021年3月期第1四半期	5,647	△12.9	70	△54.9	80	△39.6	57	△38.3

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 416百万円 (830.0%) 2021年3月期第1四半期 44百万円 (△64.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	24.15	23.93
2021年3月期第1四半期	3.81	3.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	22,799	13,824	58.5
2021年3月期	22,515	13,497	57.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 13,336百万円 2021年3月期 13,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,430	10.4	1,800	18.3	1,770	16.6	1,270	19.4	84.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	15,167,000株	2021年3月期	15,167,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	159,425株	2021年3月期	187,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	14,983,883株	2021年3月期1Q	14,979,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下「当第1四半期」)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により依然として先行き不透明な状況にあります。ワクチン接種の普及などにより、今後の経済活動は回復に向かうことが期待されます。

また世界経済は、いち早く経済活動を再開した中国や、大規模な経済対策とワクチン接種の進展により個人消費が持ち直している米国などで景気が回復する一方、欧州やアジアの一部での感染再拡大や原油価格高騰の影響も懸念されます。

当社グループ関連業界については、建築土木関連業界では新設住宅着工戸数は昨年度大きく落ち込んだ反動による持ち直しが見られますが、ウッドショックと呼ばれる世界的な木材の需給ひっ迫によるマイナス影響が懸念されます。工業関連業界では、特にテレワークの拡大によりデジタルデバイス製品の需要が伸長しましたが、足元では半導体不足による自動車産業での減産をはじめ、産業界全体への影響が広がっております。また一般消費者関連業界では、新型コロナウイルス感染症の拡大による巣籠もり消費が一巡し消費行動に鈍化が見られます。

このような状況のもと当社グループでは、感染防止対策を講じつつ製品の安定供給に努めたほか、継続的なコスト改善による競争力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、前年第1四半期は新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けたことによる反動もあり、当第1四半期の売上高は6,893百万円(前年同四半期比22.1%増)、営業利益は546百万円(前年同四半期比671.2%増)、経常利益は551百万円(前年同四半期比588.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は361百万円(前年同四半期比533.9%増)となりました。

売上状況につきましては次のとおりであります。

なお、セグメントごとの業績につきましては、当社グループの事業は、報告セグメントが「接着剤及びシーリング材事業」のみであるため、売上状況を内部管理上の区分である市場別に区分して記載しております。

① 建築土木関連市場

新設住宅着工戸数の回復に伴い主要顧客である戸建注文住宅メーカーや大手住宅資材メーカー向け外装用シーリング材などの販売が回復したほか、内外装タイル用接着剤「セメダインタイルエース」シリーズの拡販などに注力した結果、売上高は2,870百万円(前年同四半期比11.6%増)となりました。

② 工業関連市場

当該市場の前年同四半期は新型コロナウイルス感染症の影響が最も大きかったこともあり、自動車メーカー各社の生産台数回復に伴って車体や車載部品関連の売上が増加したほか、中国および周辺国向けの電機・電子部品関連向けの売上も堅調に推移したことから、売上高は2,738百万円(前年同四半期比50.6%増)となりました。

③ 一般消費者関連市場

季節商材である「セメダイン防水スプレー」シリーズの売上増加や、2021年3月に発売した新製品「セメダインスーパーXデュオ」の拡販などに努めた結果、売上高は1,251百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

④ その他

その他の売上は不動産賃貸収入であります。賃貸収入は33百万円(前年同四半期比0.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度と比較し283百万円増加し、22,799百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が197百万円増加したこと、及び現金及び預金が72百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度と比較し42百万円減少し、8,975百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、電子記録債務が合わせて300百万円増加したこと、未払法人税等が175百万円減少したこと、及び賞与引当金が173百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度と比較し326百万円増加し、13,824百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が32百万円増加したこと、及び利益剰余金が286百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日に発表いたしました通期連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,987,114	6,060,002
受取手形及び売掛金	6,615,003	6,220,138
電子記録債権	1,334,281	1,693,031
商品及び製品	1,930,357	2,028,986
仕掛品	209,672	216,992
原材料及び貯蔵品	755,356	952,729
その他	170,744	209,007
貸倒引当金	△16,537	△17,472
流動資産合計	16,985,991	17,363,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,927,741	1,957,839
その他(純額)	2,113,122	2,087,891
有形固定資産合計	4,040,864	4,045,731
無形固定資産		
のれん	39,582	36,659
その他	182,556	194,125
無形固定資産合計	222,138	230,785
投資その他の資産		
投資有価証券	734,093	717,462
その他	509,918	421,835
貸倒引当金	△1,930	△1,930
投資その他の資産合計	1,242,082	1,137,367
固定資産合計	5,505,085	5,413,884
繰延資産	24,845	22,583
資産合計	22,515,923	22,799,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,120,431	4,228,798
電子記録債務	1,842,389	2,034,371
未払法人税等	293,569	118,012
賞与引当金	365,661	192,525
その他	1,008,933	1,006,613
流動負債合計	7,630,985	7,580,321
固定負債		
退職給付に係る負債	952,967	960,118
その他	434,425	434,996
固定負債合計	1,387,393	1,395,114
負債合計	9,018,378	8,975,435

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,588,157	2,598,416
利益剰余金	7,261,566	7,548,528
自己株式	△61,267	△52,114
株主資本合計	12,838,831	13,145,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,424	108,745
為替換算調整勘定	44,463	76,679
退職給付に係る調整累計額	6,540	6,143
その他の包括利益累計額合計	171,428	191,568
新株予約権	69,622	54,238
非支配株主持分	417,663	433,436
純資産合計	13,497,545	13,824,448
負債純資産合計	22,515,923	22,799,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,647,954	6,893,447
売上原価	4,124,520	4,790,859
売上総利益	1,523,433	2,102,587
販売費及び一般管理費	1,452,561	1,556,056
営業利益	70,871	546,530
営業外収益		
受取利息	274	354
受取配当金	12,108	12,553
為替差益	—	5,105
持分法による投資利益	4,388	4,246
その他	15,494	5,115
営業外収益合計	32,267	27,375
営業外費用		
売上割引	12,823	13,730
為替差損	6,166	—
支払補償費	705	465
その他	3,309	7,937
営業外費用合計	23,005	22,134
経常利益	80,133	551,772
特別利益		
固定資産売却益	—	1,598
特別利益合計	—	1,598
特別損失		
固定資産除売却損	997	4,257
特別損失合計	997	4,257
税金等調整前四半期純利益	79,136	549,113
法人税等	10,228	170,203
四半期純利益	68,907	378,910
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,824	17,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,082	361,860

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	68,907	378,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,172	△11,678
為替換算調整勘定	△46,159	47,294
退職給付に係る調整額	1,253	△397
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,435	1,953
その他の包括利益合計	△24,169	37,171
四半期包括利益	44,738	416,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,729	381,999
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,991	34,081

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

これにより、一部のライセンスの供与に係る収益について、従来は、入金時に収益を認識する方法によっておりましたが、ライセンスを顧客に供与する際の約束の性質が、ライセンス期間にわたり知的財産にアクセスする権利である場合は、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。